

1. 家庭とは？

**子どもが家で身につけたことは、
生涯、ずっと生き続ける。**



- 子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思いますか？
- 自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない。
- 子育ては母親の仕事、そう思っているお父さんは要注意。
- 話せばわかるとは限らないが、話さなければもっとわからない。
- 前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている。
- あなたの生き方が、子どもへの最高の教育になる。
- 家庭教育に関する国際比較調査について

子どもたちのいちばんの願い、 それは何だと思いますか？

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子どもたちに聞いたところ、どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。

必要なモノさえ与えていれば子どもは育つ、と思えた時代もありましたが、いまや心安らぐ楽しい家庭は家族が意識的に協力し合わなければなかなか得られません。

子どものために、自分のために、もう一度家庭を見つめ直してみましょう。

安らぎのある楽しい家庭をつくる



自分を大切にできないならば、 子どもを大切にすることもできない。

子育ては大事ですが、一日中、わき目もふらずに集中しては疲れてしまいます。親のイライラは、子どもにも伝わっていくものです。

大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦で助け合ったり、子育てサポーターや子育てネットワークといった育児を手伝う仲間や仕組みを活用したりして、リフレッシュする時間をつくりましょう。

また、ひとりで悩まずに、家庭教育相談・保健所・保健センター・児童相談所などにも勇気を出して相談してみましょう。幼稚園や認定こども園（※）でも、園に通っていない子どもも対象として子育て支援活動をしています。具体的な取組は園によって異なりますので、まずは気軽に園にたずねてみませんか。

親が幸せで笑顔でいる家庭でこそ、子どもも幸せを感じられます。

※認定こども園とは・・・

平成18年10月より始まった制度で、幼稚園、保育所等のうち、以下の機能を備えるものを都道府県が「認定こども園」として認定した施設です。

- ① 教育及び保育を一体的に提供
- ② 地域における子育て支援の実施

認定こども園に関する情報は、認定こども園HP (<http://www.youho.go.jp>) でもご覧になれます。

親の笑顔が子どもの笑顔をつくる

子育ては母親の仕事、 そう思っているお父さんは要注意。

妊娠中は、つわりがあったり、おなかが大きくなり動きが制限されたり、また、気持ちも不安定になりやすいので、父親がしっかりサポートすることが大切です。この時期は、父親・母親となるための心の準備をする大切な時期でもあり、お互いに支え合うことが夫婦の絆^{きずな}を強くします。

また、育児中も母親だけに子育ての責任がゆだねられ、家庭での父親の存在感が薄いことが指摘されています。父親の家庭への理解や協力が無いままでは、母親の子育てに対する不安感や負担感が増したり、母と子の関係が密着しすぎたりすることにつながる心配があります。

妊娠中から、父親がもっと家庭の中での役割を積極的に担い、夫婦で子育てについてもよく話し合っていくことが大切です。

夫婦として親として、子育てを通して成長していきたいものです。

日頃の生活であること（配偶者の理解度別）



(注) 首都圏、地方市部、地方郡部の幼稚園児・保育園児をもつ保護者6,131名
資料:「第3回子育て生活基本調査(幼児版)」(2008年) Benesse教育研究開発センター

夫婦で共同して子育てをする



本和加家の場合

